平成31年３月１日発行（毎月１回１日発行）通巻第655号

林業福島

No. 655

題字　公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長　齋藤卓夫

3
2019

監　　修■福島県農林水産部
表紙の写真■人　機　一　体

都市と農山村が共生する社会の実現を目指して

福島県町村会長
鏡石町長　遠　藤　栄　作

皆様方には、日頃より、町村行政の推進にご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。また、これまで森林の整備、保全等に日夜努力を重ねておられることに対しまして、心から敬意を表するものであります。

さて、農山村は、常に自然との関わりの最前線に立ち続けてきた地域であり、災害と背中合わせの山間地で自然と共生しながら、食料や林産資源、水、エネルギーを供給し、国民共有の財産である森林を守り育て、集落の暮らしと伝統文化を継承してきた地域であります。

しかしながら、近年、農山村を取り巻く環境は、過疎化・高齢化の進行や農業・林業従事者の減少など厳しい状況が続いております。

また、適切な管理が行われていない森林の増加により森林荒廃が長期化し、森林の果たしてきた水源のかん養や土砂災害の防止をはじめとする様々な公益的機能が低下し、自然災害の危険が高まっております。昨年は、西日本豪雨や北海道胆振東部地震など全国各地で大規模な災害が発生し、甚大な被害をもたらしましたが、近年、自然災害は激甚化、大規模化しておりまして、防災・減災対策の強化は喫緊の課題であります。

このような中で、私どもの長年の悲願でありました森林環境税及び森林環境譲与税が実現することとなり、そして来年度からは「新たな森林管理システム」がスタートすることになります。森林整備に必要な恒久的で安定的な財源の確保と、森林の適切な管理・保全が図られることになりますが、私どもはこのような新しい動きをしっかりと受け止め、町村としての役割を果たしてまいりたいと考えております。

さらに、最近では、地域おこし協力隊をはじめとする若い世代を中心に、農山村地域と多様な関わりを持ち、都会から地方を目指す「田園回帰」の人の流れが高まってきております。農山村地域に仕事をつくり、若者の移住・定住を進めていくことは、ひいては地方創生の実現につながるものであると思っております。私どもは、この潮流をさらに加速させ、都市と農山村が共生する社会の実現を目指して努力を重ねていく所存であります。

福島県町村会といたしましては、今後も関係団体との連携を強化しながら、農山村地域の活性化が図られるよう、全力で取り組んでまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

《も　く　じ》

とびら
都市と農山村が共生する社会の実現を目指して
　福島県町村会長　鏡石町長　遠　藤　栄　作…1
WOODコレクション(モクコレ)2019で県産材をPR…2
平成30年度林業普及指導員全体研修会を開催しました……3
平成30年度林業研究グループ等活動発表会を開催しました……4
「企業等による森林(もり)づくり」の活動について…5
平成30年度森林土木研修会を開催しました…6
緑の募金のご協力よろしくお願いいたします…7
普及指導員通信……8
森連だより……9
きのこセンターだより……10
木に触れて豊かな心を育む「木育」⑫……11
木材市況・ふくしま東西南北……12
はなしのひろば・お知らせコーナー……13

ＷＯＯＤコレクション（モクコレ）２０１９で県産材をＰＲ

福島県木材協同組合連合会

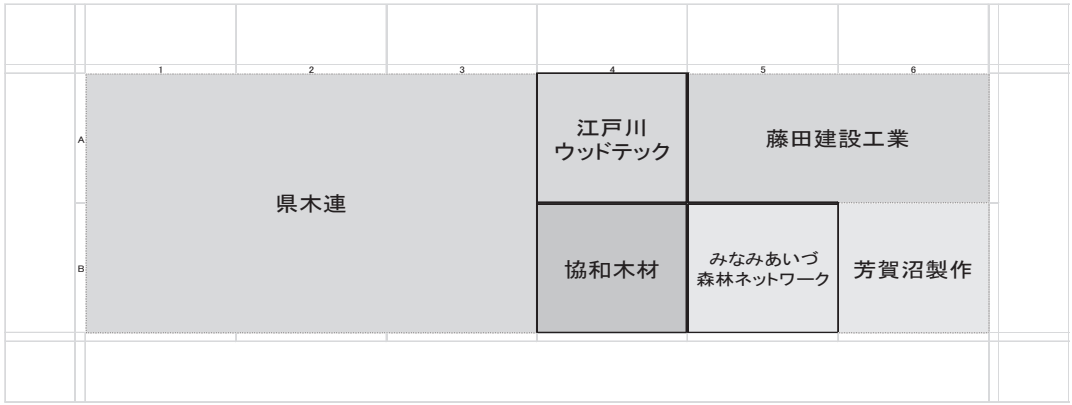
平成三一年一月二九日・三〇日、東京ビッグサイトにおいて、東京都主催の「ＷＯＯＤコレクション（モクコレ）２０１９」が開催され、当会ほか木材関連企業が福島県の支援を受け、県産材製品等の展示による県産材のＰＲを行いました。

主催者挨拶　東京都知事

ＷＯＯＤコレクション（モクコレ）は、東京都と各地域が連携し、木材の大消費地である東京での更なる利用拡大に向け、日本各地の地域材を活用した建材や家具などの製品を展示するもので、四回目となる今回は、四〇都道府県から二一〇企業・団体が出展しました。

福島県ブースは、当会・協和木材㈱・藤田建設工業㈱・江戸川ウッドテック㈱・ＮＰＯ法人みなみあいづ森林（もり）ネットワーク・㈱芳賀沼製作が出展し、福島県産材の半数以上を関東圏に出荷している供給力とＷＯＯＤ・ＡＬＣ、木製ユニットハウス、広葉樹を活用したキッチンの天井など新製品・新工法の開発力をアピールしました。県木連では、ＪＡＳ製材品の実物躯体展示と県内ＪＡＳ認証工場のビデオ紹介によるＪＡＳ材品の供給力をＰＲするとともに、会員企業の建材・木製品・木工品の展示を行いました。

また、福島県は、県が提供予定の東京オリンピック・パラリンピック「選手村ビレッジプラザ」の建築に使用する部材のモデル材を展示し、ふくしま県産材でオリンピックを応援することを発信しました。



福島県ブース　出展企業・団体

福島県ブース

県木連　JAS製材品躯体展示

福島県
東京オリンピック・パラリンピック「選手村ビレッジプラザ」の建築に使用する部材のモデル材展示

平成三〇年度
林業普及指導員全体研修会を開催しました

福島県林業振興課

平成三〇年度林業普及指導員全体研修会を平成三一年二月一日(金)、県林業研究センター研修本館で開催し、林業普及指導職員をはじめ林業関係者等約一〇〇名が参加しました。

この研修会は、県内の各普及地区の代表者七名が、日頃の普及活動の取組についての活動発表を行うものであり、今年は、出荷制限を受けていた特用林産物の生産再開や特用林産物を活用した地域振興を目指した取組、森林ＧＩＳの定着・有効な活用に向けた取組、地域の森林整備の再生・加速化に向けた取組などが報告され、それぞれの発表に対し活発な質疑応答が交わされました。

午後からは、林材ライターの赤堀楠雄氏より「木材のトレンドを読み解く」と題して、木材の需要の現状とこれからの森林づくり、サプライチェーンマネジメントのあり方等について御講演をいただきました。

その後、県林業振興課より活動発表に対する講評があり、審査の結果、最優秀賞には民安義仁さん（県南農林事務所）、優秀賞には益子利江さん（相双農林事務所富岡林業指導所）、特別賞には加藤沙織さん（いわき農林事務所）が選ばれました。最優秀賞の民安さんは、北海道で開催される平成三一年度林業普及指導職員東北・北海道ブロックシンポジウムに福島県代表として参加される予定です。

各林業普及指導地区からの活動発表課題名は、次のとおりです。

●県北地方における栽培わらびの生産再開に向けて
（県北農林事務所
主査　二瓶　郁子）

●森林ＧＩＳ導入から十年～県中地方の現状と普及指導の取組について～
（県中農林事務所
主査　渡辺　信和）

●挑戦！県南地方の森林再生に向けて
（県南農林事務所
主任主査　民安　義仁）

●会津地方における森林整備の推進について
（会津農林事務所
主査　小池　陽子）

●高野地区における森林整備の検討
（南会津農林事務所
主任主査　山田　憲司）

●新たなきのこ生産者による地域振興に向けた取組への支援・指導
（相双農林事務所富岡林業指導所
主査　益子　利江）

●分収林の土地所有者が抱える不安に対する普及活動について
（いわき農林事務所
技師　加藤　沙織）

会場の様子

赤堀楠雄氏の講演

活動発表会

平成三〇年度 林業研究グループ等活動発表会を開催しました

福島県林業振興課

平成三〇年度林業研究グループ等活動発表会を平成三一年一月三一日（木）、県林業研究センター研修本館で開催し、県内各地の林業研究グループをはじめ林業関係者等約一〇〇名が参加しました。

この発表会では、県内各地の自主的な実践活動を行っているグループの活動内容を各地区の代表が発表することにより、各林業研究グループの活動の展開に資することを目的に毎年開催しており、今回は六団体から、森林環境学習・体験活動や里山等の整備・地域づくり、特用林産物に関する取組など、様々な活動について発表がありました。

午後には、全国林業研究グループ連絡協議会副会長の鈴木英元氏（静岡市）より、「林家による地域森林経営を担う仕組みづくり」と題して、地域に密着した森林管理や、次世代を見通した森林整備など、様々な活動について御講演をいただきました。

その後、県林業振興課　近藤仁志課長より活動発表に対する講評、審査結果の発表があり、審査の結果、最優秀賞には藤田旭美さん（会津キリ振興連絡協議会）、優秀賞には渡部雅俊さん（南会津町中荒井区）、特別賞には大方俊浩さん（特定非営利活動法人小野自然倶楽部）が選ばれました。

最優秀賞に選ばれた会津キリ振興連絡協議会の藤田旭美さんは、秋田県で開催される平成三一年度東北・北海道ブロック林業グループ活動発表会に福島県代表として参加される予定です。

各グループの発表課題は、次のとおりです。

●未来のもりをみすえたガイド
（ＮＰＯ法人福島県もりの案内人の会県北支部　菅野　英夫）

●次世代につなぐ森の未来～ふれあいの森サスティナブル・プロジェクト～
（特定非営利活動法人小野自然倶楽部　代表理事　大方　俊浩）

●森林の大切さを伝える～自然観察や木工工作等を通して～
（ＮＰＯ法人南湖森林公園案内人の会　石川　静男）

●日本一の会津桐の再興を目指して
（会津キリ振興連絡協議会　藤田　旭美）

●ふるさとの森林（やま）の育成は多種多様な事業展開で！
（南会津町中荒井区　区長　渡部　雅俊）

●きのこの人工栽培の取組み
（ＮＰＯ法人いわきの森に親しむ会　松﨑　和敬）

会場の様子

鈴木秀元氏の講演

活動発表会

「企業等による森林（もり）づくり」の活動について

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

近年、企業の社会的責任（ＣＳＲ）に対する関心が高まり、社会貢献活動に取り組む企業や団体等が増加しています。当協会においては、平成二八年度から福島県の「みんなで支えよう森森（もりもり）元気事業運営業務」の委託を受けて、企業やＮＰＯ等が社会貢献活動として行う植樹活動等を支援しています。

平成二一年度にスタートした「企業等による森林づくり」支援活動は、表－１のとおり現在までに十四件五二・七一（ヘクタール）、平成二六年度からは、海岸防災林の植樹等活動にも取組み、表－２のとおり十六件四・九四（ヘクタール）の森林づくり協定が締結されています。福島の豊かな森林を保全していくため、多くの企業等から森林づくり活動へのご支援、ご協力をいただくことが必要であります。

平成三〇年度は、福島県等との連絡調整や活動支援を行い、表－３のとおり合計六回一・三〇（ヘクタール）の海岸防災林の植樹活動が実施されました。

特に全富士通労働組合連合会様は、「地球にみどり　子どもたちに夢」をスローガンに三〇年十月の活動で通算第六回目（合計一・六三（ヘクタール））の実施となりました。

第六回の活動状況は、全国各地から組合員の皆様が福島駅西口に集合、バスで南相馬市の現地に移動し、二日間で延べ一三七名（県内参加者を含む）が参加して植樹活動等を行いました。

初日は、今までの植栽地の下刈りを省力化するためウッドチップの散布を中心に活動を行いました。夜は、相馬市松川浦の宿に泊まり福島の酒と地元食材を堪能したそうです。二日目は、当協会からの植樹方法等の説明の後、八班に分かれ、班のリーダーの指導のもと植樹に汗を流しました。植栽樹種はクロマツ、コナラ、クヌギの三種で、九五〇本を植栽しました。

このような全国からの植樹活動支援に感謝するとともに、引き続き、企業等による海岸防災林の育成活動を支援してまいります。

植樹位置を出しての植栽
（全富士通労働組合連合会）

下刈り省力化のためのチップの散布
（全富士通労働組合連合会）

表－１　企業等の森林づくり協定締結一覧（H31年２月８日現在）

No.	企業等名	協定締結者	協定締結年月日	協定期間	面積(ha)	活動場所・内容
1	㈱東邦銀行	須賀川市 福島県知事	21. 6. 5	21. 6. 5～ 24. 3. 31	2.04	未来博記念公園 森林整備
2	㈱東邦銀行	喜多方市 福島県知事	21. 10. 8	21. 10. 8～ 24. 3. 31	1.14	松山森林公園 広葉樹の植栽
3	㈱東芝	福島市 福島県北森林組合 福島県知事	22. 8. 25	22. 8. 25～ 27. 3. 31	4.20	福島市佐原地区 森林整備
4	㈱福島県トラック協会	下郷町中山区 下郷町 福島県農林水産部長	22. 11. 6	22. 11. 6～ 31. 3. 31	1.20	下郷町中山区 広葉樹の植栽、下刈り等
5	イオンリテール㈱ マックスバリュ一南東北㈱ イオンスーパーセンター㈱	財ふくしまフォレスト・ エコ・ライフ財団 福島県知事	23. 1. 31	23. 1. 31～ 28. 1. 31	8.16	ふくしま県民の森 森林整備
6	㈱ディーエイチシー	猪苗代町 福島県知事	24. 9. 7	24. 9. 7～ 26. 1. 28	7.60	びわ沢原森林公園 広葉樹の植栽等
7	㈱東邦銀行	北塩原村 福島県知事	24. 9. 7	24. 9. 7～ 27. 3. 31	2.06	北塩原村大塩地区 広葉樹の植栽等
8	みずほフィナンシャル グループ	下大越共有山林組合 いわき市 福島県知事	25. 4. 24	25. 4. 24～ 31. 3. 31	2.27	いわき市平下大越地区 クロマツ植栽等
9	陸奥テックコンサ ルタント㈱	南会津町 福島県南会津農 林事務所	26. 5. 1	26. 5. 1～ 31. 3. 31	3.00	南会津町八総地区 地拵え、広葉樹の植 栽等
10	楽天㈱	森林所有者代表 相馬市 福島県知事	26. 12. 26	26. 12. 26～ 29. 3. 31	7.80	相馬市山上地区 森林整備
11	㈱東芝	福島市 福島県北森林組合 福島県知事	27. 9. 25	27. 9. 25～ 30. 3. 31	5.03	福島市佐原地区 森林整備
12	㈱東邦銀行	いわき市 福島県知事	27. 10. 1	27. 10. 1～ 29. 3. 31	0.78	いわき市常磐湯本町 日渡地内 広葉樹の植栽等
13	㈶イオン環境財団	いわき市 福島県知事	29. 9. 11	29. 9. 11～ 32. 3. 31	1.08	いわき市錦町須賀地区 クロマツ、広葉樹の 植栽、下刈り
14	日本精工㈱	棚倉町長 福島県知事	31. 2. 4	31. 2. 4～ 36. 3. 31	6.35	棚倉町関口地内除 伐、植栽、下刈り
12者14協定　合計					52.71	ha

表－２　NPO・企業等による海岸防災林植樹活動協定締結一覧
（H31年１月30日現在）

No.	企業等名	ほか協定者	協定締結年月日	協定期間	面積(ha)	活動内容等
1	福島県森林土木建 設業協会	相馬市 福島県森林・林業・緑化協会 県（知事）	27. 3. 25	27. 3. 25～ 30. 3. 31	0.13	海岸防災林（相馬市 大洲）
2	イオン㈱	相馬市 福島県森林・林業・緑化協会 県（知事）			0.12	
3	相馬市総合建設業 組合	相馬市 福島県森林・林業・緑化協会 県（知事）			0.08	
4	緑地創造研究会苗 木プロジェクト共 同企業体 ※(公財)ヤマト福祉 財団の出資による	相馬市 福島県森林・林業・緑化協会 県（知事）			0.13	
5	ふるさと再生、菜 の花、黒松植樹プ ロジェクト	相馬市 福島県森林・林業・緑化協会 県（知事）			0.08	
6	東北電力㈱	相馬市 福島県森林・林業・緑化協会 県（知事）	28. 3. 30	28. 3. 30～ 31. 3. 31	0.42	海岸防災林（相馬市 大洲）
7	NPO日本バーク 堆肥協会	相馬市 福島県森林・林業・緑化協会 県（知事）		28. 3. 30～ 33. 3. 31	0.12	
8	全富士通労働組合 連合会	福島県森林・林業・緑化協会 県（知事）	28. 5. 14	28. 5. 14～ 33. 3. 31	0.32	海岸防災林（南相馬 市鹿島区）
9	全富士通労働組合 連合会	南相馬市 福島県森林・林業・緑化協会 県（知事）	28. 10. 14	28. 10. 14～ 33. 3. 31	0.51	海岸防災林（南相馬 市鹿島区）
10	東北電力㈱	相馬市 福島県森林・林業・緑化協会 県（知事）	29. 4. 4	29. 4. 4～ 32. 3. 31	0.20	海岸防災林（相馬市 磯部字大洲工区内）
11	㈶福島県トラッ ク協会	相馬市 福島県森林・林業・緑化協会 県（知事）	29. 4. 4	29. 4. 4～ 32. 3. 31	0.20	海岸防災林（相馬市 磯部字大洲工区内）
12	全富士通労働組合 連合会	福島県森林・林業・緑化協会 県（知事）	29. 9. 20	29. 9. 20～ 34. 3. 31	1.00	海岸防災林（南相馬 市鹿島区）
13	東北電力㈱	相馬市 福島県森林・林業・緑化協会 県（知事）	30. 2. 13	30. 2. 13～ 33. 3. 31	0.50	海岸防災林（相馬市 磯部字大洲工区内）
14	福島キヤノン株式 会社	南相馬市 福島県森林・林業・緑化協会 県（知事）	30. 9. 28	30. 9. 28～ 33. 3. 31	0.52	海岸防災林（南相馬 市鹿島区）
15	関場建設株式会社	福島県森林・林業・緑化協会 県（知事）	30. 10. 10	30. 10. 10～ 33. 3. 31	0.08	海岸防災林（南相馬 市原町区）
16	全富士通労働組合 連合会	南相馬市 福島県森林・林業・緑化協会 県（知事）	30. 10. 16	30. 10. 16～ 37. 3. 31	0.53	海岸防災林（南相馬 市鹿島区）
11者・16協定　合計					4.94	ha

表－３　平成30年度企業等による森林づくり活動状況

場　所	実施者	月　日	面積(ha)
相馬市磯部字大洲地内海岸防災林	東北電力株式会社	５月23日	0.50
	(公社)福島県トラック協会	10月13日	0.08
南相馬市鹿島区南海老地内海岸防災林	全富士通労働組合連合会	５月19～20日	0.25
		10月27～28日	0.19
	福島キヤノン株式会社	11月10日	0.20
南相馬市原町区雫地内海岸防災林	関場建設株式会社	11月２日	0.08
		合計６か所	1.30

平成三〇年度

森林土木研修会を開催しました

福島県森林土木建設業協会
公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林土木建設業協会と公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会は、森林土木技術の向上と森林土木事業の適切な実施に資するため、毎年度共催で森林土木研修会を開催しています。

平成三〇年度研修会は、平成三一年一月十日(木)に福島市の福島県建設センターにおいて開催し、協会会員のほか、福島県や市町村の職員など約六〇名が参加しました。

初めに両協会を代表し、水戸典明(公社)福島県森林・林業・緑化協会専務理事があいさつを述べたあと、福島県農林技術課主査　松岡武史氏を講師に、「森林土木事業における施工パッケージ型積算方式の実習」について講義を受けました。

水戸専務理事あいさつ

松岡氏の講義

講義では、福島県が平成二九年七月より導入している施工パッケージ型積算方式について概要説明を受けた後、標準単価表の見方及び積算方法を学び、最後に実際に暗渠排水管の据付工事の積算を全員で実習しました。

次に、福島県森林整備課主幹　鈴木孝氏を講師に、福島県で進めている「航空レーザ測量を活用した林業専用道整備」について講義を受けました。

講義では、初めに福島県における森林と路網整備の状況を説明いただき、効率的な作業システムのためには整備された路網が必要で、そのためには、地盤、樹冠表層面の高さ情報だけでなく、林内の情報も取得できる「航空レーザ測量」が有効であることを豊富な資料により分かりやすく解説していただきました。

今回の研修会は、受注者と発注者が一堂に会し、森林土木事業に係る最新の状況等について学習するとともに共通の認識を持つことができ、大変意義のあるものとなりました。今後におきましても、森林土木事業の適切な実施に資するよう、充実した内容で研修を開催してまいります。

鈴木氏の講義

真剣に講義を聞く受講者

平成31年度の緑の募金目標額　7,000万円

緑の募金のご協力よろしくお願いいたします

街頭キャンペーン

緑の募金の実績

平成30年度（４月～１月分集計）は、下表のとおり目標額の９割を超える約6,332万円と多額のご寄附をいただきました。県民の皆さまに厚く御礼申し上げます。

緑の募金は、緑豊かな美しいふくしまを未来につなぐため、地域の人々の身近な緑化活動や、森林の整備、次代を担う青少年の森林体験活動などに役立たせていただきました。

平成31年度の「緑の募金」春季募金期間は、例年どおり新年度がはじまる４月１日から５月31日までとなっておりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

平成31年の緑化運動標語
「その手から　つながる未来　広がる緑」

〒960-8043
福島市中町５－18　福島県林業会館内
（公社）福島県森林・林業・緑化協会
（緑化推進局　緑化推進課）
TEL 024-524-1480　FAX 024-521-3246

平成30年度　緑の募金実績（平成30年４月～平成31年１月）

単位：円

市・地方緑化推進委員会	募金の種類					募金合計額
	街頭募金	家庭募金	企業募金	職場募金	学校募金	
福島市緑化推進委員会	140,103	0	1,734,539	790,730	1,431,130	4,096,502
伊達市緑化推進委員会	2,468	1,939,456	282,927	278,385	83,929	2,587,165
伊達郡緑化推進委員会	35,523	1,050,300	243,000	162,935	38,055	1,529,813
二本松市緑化推進委員会	10,687	1,363,900	307,467	227,250	227,143	2,136,447
本宮地域緑化推進委員会	56	939,700	461,400	107,337	126,302	1,634,795
国土緑化郡山市推進委員会	880	6,960,920	1,172,250	833,790	1,996,521	10,964,361
須賀川市緑化推進委員会	29,213	899	729,944	357,700	360,801	1,478,557
国土緑化岩瀬地方推進委員会	0	469,600	4,200	73,115	45,389	592,304
田村地方緑化推進委員会	46,814	1,852,900	408,280	498,600	47,252	2,853,846
国土緑化石川地方推進委員会	431	1,075,350	299,945	211,209	317,303	1,904,238
白河市緑化推進委員会	1,822	1,115,100	510,130	239,300	102,800	1,969,152
国土緑化西白河地方推進委員会	2,133	1,406,700	404,826	193,356	51,851	2,058,866
国土緑化東白川地方推進委員会	46,668	921,900	182,306	202,254	43,807	1,396,935
国土緑化会津若松市推進委員会	24,476	3,619,870	628,000	715,113	391,764	5,379,223
両沼地方緑化推進委員会	7,150	1,616,336	96,346	229,990	30,695	1,980,517
会津耶麻地方緑化推進委員会	2,168	1,008,652	110,215	173,063	128,316	1,422,414
喜多方市緑化推進委員会	49,558	1,536,850	417,000	491,034	16,237	2,510,679
南会津地方緑化推進委員会	64,174	1,275,000	35,301	194,633	44,637	1,613,745
相馬地方緑化推進委員会	37,987	1,056,600	0	598,484	0	1,693,071
いわき市緑化推進委員会	75,240	8,453,840	1,172,287	1,576,184	438,779	11,716,330
小計	577,551	37,663,873	9,200,363	8,154,462	5,922,711	61,518,960
事務局	612,026	0	669,963	519,066	0	1,801,055
合計	1,189,577	37,663,873	9,870,326	8,673,528	5,922,711	63,320,015

※街頭募金には、イベント募金、常設募金等を含みます。

普及指導員通信

双葉地方における森林環境学習の推進について

相双農林事務所　富岡林業指導所
林業普及指導員　小　林　勇　介

震災からまもなく８年が経過しますが、双葉地方では復興の進展に伴い平成30年４月に富岡町立富岡小中学校、葛尾村立葛尾小中学校が再開し、浪江町立なみえ創生小中学校が開校しました。震災以降、森林環境学習を見合わせてきた学校も多くありましたが､今年度から双葉地域全ての町村で森林環境学習が再開されました。

今回、森林環境学習の再開に向けて富岡林業指導所が行った、楢葉町における取組を紹介します。

楢葉町立楢葉南小学校及び楢葉北小学校では、１年生から６年生の69名を対象に震災以降初めて木工教室を開催しました。その際、楢葉町役場の担当者に教材となる木工工作キットの情報を提供し、木工教室の進め方を助言するとともに、当指導所林業普及指導員が講師として参加しました。

木工教室では、児童の皆さんが楽しく理解できるよう次のような工夫をしました。

①　学年に合わせた説明

低学年にはクイズを交え、森からの恵みには何があるかを考えてもらいながら、先人たちが林業を営み森づくりを行ってきたことを説明し、高学年はこれに加えて森林の二酸化炭素の吸収機能、木材の二酸化炭素固定機能について説明しました。

②　小道具の作成・活用

説明をよりイメージしやすいものにするため、小道具を作成・活用しました。山の恵みに関するクイズでは、山の形をしたボードにイラストを貼付けながら説明し、森林から得られる恵みは多様であることを理解していただきました。森林の二酸化炭素吸収機能の説明では、木の形の箱と二酸化炭素の模型を使用しました。光合成の説明では、糖に見立てたラムネ菓子を木の形の箱から取り出し、吸収した炭素が糖へ、やがては木材を構成するセルロースへ変わることを説明すると児童の皆さんは驚いた様子でした。また、チェーンソー防護服やヘルメットを着用してのこぎりで木の枝を伐ったり、チェーンソーの模型に触れるなど、林業の道具を知ってもらう機会を設けました。

③　木工クラフト資材の提供

木工工作では学年ごとに椅子、貯金箱、ペン立ての作製と併せて、木工クラフトを行いました。木工クラフトの材料は当指導所がどんぐり、松ぼっくり、端材及び樹木の葉等を用意しました。その他、飾り付けにキョロキョロ動く目玉やビーズ、フェルトボール等の多様な資材を用意したことで、児童の自由な感性が発揮され工夫に富んだ作品が完成しました。

木工教室の終了後に実施したアンケートでは、９割以上の児童から「またやりたい」との回答を得た一方で、今回の木工教室で森林の働き等について初めて知った児童も多く、森林の公益的機能や林業の意義、木づかい等についてより知識や理解を深めていただく必要があると感じました。双葉地域における現状を踏まえながら、引き続き森林環境学習の実施を推進してまいります。

小道具を使った座学

使用した小道具と木工クラフトの作成例

森連だより

森林施業プランナーフォローアップ研修を開催しました

福島県森林組合連合会

当会では福島県の森林整備担い手対策基金の補助を受け、平成三一年二月七日に南東北総合卸センターにおいて、四名の講師を迎え、「森林経営管理制度における森林施業プランナーの役割」と題して研修会を開催しましたので、ご紹介します。

はじめに、福島県森林計画課 高畑純氏より、平成三一年四月一日から施行される「森林経営管理制度の概要」を説明頂きました。この制度は、所有者が不明な山林や森林経営が困難な山林を、森林所有者の意向申出を受け市町村が経営管理権を設定し、適切な森林経営を行うことが目的となっており、市町村が経営管理権を設定した山林は、意欲と能力のある経営者が経営管理実施権を設定し、森林の管理を行います。なお、森林所有者の所有権や経営権は喪失すること無く、経営管理権設定後も所有者が申し出ることで再度自ら山林の管理をすることが可能となっています。

この制度の説明に加え、森林の適切な管理の委託に至るまでどのような手続きが必要かの解説も頂きました。

続いて、福島県林業振興課 岡田健吾氏より、「森林経営管理制度における森林施業プランナーの役割」と題し、森林経営管理制度の中で森林施業プランナー（以下、「プランナー」）にはどのような役割が求められているか説明を頂きました。説明では、重要なポイントとなる意欲と能力のある林業経営者の認定についても解説があり、市町村とどの様に連携を図っていくのかは我々林業関係者にとっても大きな課題であるとの印象を受けました。

午後からは、京都府立林業大学校 客員教授 藤野正也氏より、「森林所有者が魅力を感じるプラン書作成」の講義を頂きました。プラン作成に当たっては、詳しく説明を行うことだけに重点を置くのではなく、目の前にいる所有者が理解・納得をして頂けるようプランナーは所有者ごとに適した提案手法を選択するなど、幅広いスキルが必要であると感じました。講義に続き、参加者がグループごとに意見交換を行う時間を設けることで、様々な角度からプランナーとしての職務を改めて考える機会となりました。

最後に、株式会社パスコ様より集約化施業における先端技術の活用として、日々進歩する森林の情報解析技術をより綿密な集約化プランの検討や山林の現況把握に活用することで、新たなプラン提案につながることを紹介していただきました。

本年度の研修会は、森林経営管理制度を軸に、プランナーに対して求められる役割はどの様なものであるかをコンセプトとして開催しました。プランナーに関する研修会や今回の研修内容に関心がある方は、お気軽に当会までご連絡ください。

京都府立林業大学校 藤野客員教授の講義

参加者の意見交換

きのこセンターだより

福島県産きのこ安心安全PR販売及び試食会を実施して

きのこPR販売（東京都　ミデッテ内）

福島県きのこ振興協議会では、農作物の中でも未だに続く県産きのこ類の風評被害を払拭するため、「ふくしまプライド。」販売力強化支援事業を活用して、平成三〇年九月二一日から平成三一年一月十二日まで延べ七回にわたり福島県産きのこのPR販売等を行いました。県内では、福島市（コラッセふくしま）と郡山市（第四二回福島県林業祭・福島県林業研究センター）で県産きのこのPR販売を、東京都では日本橋ふくしま館ミデッテにおいて県産きのこのPR販売と県産きのこを使用したきのこ料理試食会を実施しました。

県産きのこのPR販売では、いわき市「小川きのこ園」のエリンギとシイタケ、郡山市「鈴木農園」のナメコ、同市「柳橋舞茸工房」のマイタケ、福島市「加藤きのこ園」の乾燥キクラゲなどを販売し、きのこ料理試食会では、安全で美味しい県産きのこをPRするために東京野菜ソムリエの会「チームふくしま。」の協力の元で、オリジナルきのこ料理を三品開発して一日当たり五〇食を提供しました。料理は、各きのこ素材の特色を生かした「麺類」「汁物」「ご飯物」とバラエティーに富んだメニューで、アンケートでは高い評価が得られ、試食後は〝美味しかったので是非、家で作りたい〟ときのこを購入していく人も多く見受けられました。

提供されたきのこオリジナル料理
（きのこたっぷり汁なし坦々麺ランチ）

また、PR配布用として県産エリンギ、ナメコ、エノキタケ、シイタケを使用して製造した「特製　美味しいなめ茸」も、〝素材の美味しさが伝わる〟と好評で販売促進に一役買いました。

今年で原発事故から八年が経過しますが、未だに県産きのこの風評被害は続いています。早期の「県きのこ産業」の完全復興のためにも、県内外に向けて県産きのこの「安心・安全」と「美味しさ」を掲げたPR活動は必要不可欠で、引き続き力を入れてまいります。

きのこ料理試食
（ミデッテ内飲食・交流コーナー）

福島県産きのこ安心安全PR販売及び試食会の実施一覧

日　時	場　所	PR内容	PR料理提供内容
９月21日・22日	東京都（ミデッテ）	きのこPR販売（シイタケ等）	提供なし
10月20日・21日	郡山市（県林研センター）	きのこPR販売（シイタケ等）	提供なし
11月１日・２日	東京都（ミデッテ）	きのこPR販売及び料理試食会	きのこたっぷり汁なし坦々麺ほか
12月２日・３日	東京都（ミデッテ）	きのこPR販売及び料理試食会	ヒラタケたっぷり団子汁
12月15日・16日	福島市（コラッセ）	きのこPR販売（シイタケ等）	提供なし
12月21日・22日	東京都（ミデッテ）	きのこPR販売（シイタケ等）	提供なし
１月11日・12日	東京都（ミデッテ）	きのこPR販売及び料理試食会	なめこたっぷりピラフほか

木に触れて豊かな心を育む「木育」⑫

株式会社光大産業（本宮市）

林業福島事務局

○はじめに

株式会社光大産業（以下「光大産業」という。）」は、昭和四七年五月の創業以来、本宮市に本社工場を構える家庭用木製品の総合メーカーで、主に国産ヒノキを使用した環境にやさしく質の高い木製品づくりと国内外への販路拡大を積極的に展開し、「世界に誇れる日本一の木工屋」を目指しています。

○森林と共生する取組

光大産業では、平成十七年十一月には適切な森林管理を推進するＦＳＣ認証制度に基づくＣｏＣ認証を取得し、輸出する製品には必ずＦＳＣ認証材を使用していて、木を使うことで森を守る、森林や地球環境との共生に配慮した取組を進めています。

事務内ディスプレイ

○環境に配慮した質の高い製品

特色ある木製品の一つが「ＦＩＤＯ（フィード）」です。ＦＩＤＯは、「木の国：日本の生活道具のブランド」のコンセプトのもと、デザイナーの富永周平氏とのコラボにより、主に輸出向けブランドとして開発されました。ＦＩＤＯは、ＦＳＣ認証を受けている国産ヒノキを使用し、木の風合いや柔らかさをそのまま生かした曲線が美しく機能的な製品となっています。

また、昨年十一月に発売された「ひのきのぷら」シリーズは、ヒノキ製品の製造過程に出る木屑とプラスチック原料を配合して作られた新しい素材「ヒノキバイオプラスチック」を使用したキッチン用品です。自然素材を配合することで、CO_2削減のみならずヒノキに含まれる天然の抗菌効果が発揮されることに加え、木屑を上手く活用する取組そのものも評価され、二〇一八年グッドデザイン賞（主催「日本デザイン振興会」）を受賞しています。

○海外への販路開拓

東日本大震災以降、風評の影響による販売の急落に対処するため、ジェトロ等の支援を受け海外への販路開拓を開始しました。海外では、日本と台湾のみ天然分布しているヒノキが持つ天然の抗菌作用や柔らかさ、独特の香りが注目され、ヒノキ（ＦＳＣ認証材）のまな板を中心に現在六か国・地域に輸出しています。

○木製品の良さをＰＲ

人・地域など五つに「尽くすこと」を経営理念に掲げる光大産業では、幼少の頃から木に触れ森に親しむ木育を重要視し、本宮市主催の未就学児を持つ保護者を対象としたＤＩＹ教室などで木工教室を開催しているほか、木育関係イベントにも積極的に出展し、木製品の良さを広くＰＲしています。

○おわりに

光大産業は、「これからも環境に配慮した製品づくりを行い、『日常に木の温かさと彩り』を届けることで、ＦＳＣ認証制度が広がり、適切に管理された森林を育てることにも繋がっている。」と話していました。

皆さんも、暮らしの中で木に触れ、木に親しむことで、森林や地球環境を思いやる豊かで美しいひと時を感じてみませんか。

次号からは、郡山女子大学家政学部 阿部恵利子准教授の連載が始まります。

ひのきのぷら

FIDO（フィード）

国際ホーム＆ハウスウエアショー２０１８に出展（シカゴ）

木工教室

木材市況

十一月の原木市場への入荷状況は、前月比五㌫増（前年比四㌫減）の二六、二〇三立方㍍となっている。

販売量は、前月比一七㌫増（前年比五㌫増）の二九、一五一立方㍍となっている。

十二月の価格は保合いとなっている。

素材の価格〈工場着価格〉（12月15日現在）

（単位：㎥当り千円）

区分		形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	中通り地方 当月	中通り地方 前月差	会津地方 当月	会津地方 前月差	浜通り地方 当月	浜通り地方 前月差	県平均 当月	県平均 前月差
一般用材	小	5～ 9	4.00	並	スギ	10 (10～10)	1	(0～ 0)		9 (8～10)	0	9 (8～10)	0
		10～14		並		13 (13～13)	1	(0～ 0)		12 (12～12)	1	13 (12～13)	1
	中	14～22	3.00	並	スギ	13 (11～16)	0	11 (11～11)	0	14 (14～14)	0	13 (11～16)	0
				並	ヒノキ	19 (16～22)	0	18 (18～18)	3	17 (17～17)	0	18 (16～22)	1
			6.00	並	スギ	16 (15～17)	0	13 (10～15)	2	17 (17～17)	0	16 (10～17)	1
				並	ヒノキ	30 (25～35)	0	(0～ 0)		23 (20～25)	1	26 (20～35)	0
		20～28	3.65	並	スギ	13 (12～15)	0	11 (10～13)	0	14 (13～14)	1	13 (10～15)	0
			4.00	並		13 (13～13)	1	12 (12～12)	1	14 (13～14)	1	13 (12～14)	1
			4.00	並	アカマツ	9 (7～11)	0	(0～ 0)		11 (9～12)	1	10 (7～12)	1
			1.80	並		8 (5～11)	0	(0～ 0)		8 (8～ 9)	0	8 (5～11)	0
外材	米材(定尺)	30以上	10.00	並	米ツガ	(0～ 0)		(0～ 0)		30 (30～30)	0	30 (30～30)	0
				並	米マツ	(0～ 0)		39 (39～39)	5	29 (28～29)	0	32 (28～39)	2
	北洋材(定尺)	28以下	3.80	並	エゾマツ	(0～ 0)		(0～ 0)		27 (25～29)	0	27 (25～29)	0
			4.00	並	アカマツ	(0～ 0)		(0～ 0)		25 (25～25)	0	25 (25～25)	0
				並	カラマツ	(0～ 0)		(0～ 0)		26 (25～28)	0	26 (25～28)	0
パルプ用材				並	マツ	7 (7～ 7)	0	(0～ 0)		6 (6～ 6)	0	6 (6～ 7)	0
				並	広葉樹	9 (9～ 9)	0	(0～ 0)		7 (7～ 7)	0	8 (7～ 9)	0

区分	形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	会津共販 当月	会津共販 前月差	いわき 当月	いわき 前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0～ 0)		7 (6～ 9)	0
	13～14		並	カラマツ	7 (7～ 7)	0	8 (7～ 8)	0
	16以上		並	カラマツ	14 (13～14)	0	10 (9～11)	0

注）1．前月差の△印は値下りを示す。
2．（ ）内は各地域の価格幅、（ ）外は各地域の平均的価格を示す。
3．一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
4．各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

ふくしま東西南北

生地獄を味わう

県中農林事務所　寺崎史也

執筆にあたり県中管内において何かネタはないものかと考え、パンチのない内容にしても面白くないので、自分が苦しむ内容とし、生地獄を味わってみた。

平田村の道の駅ひらたへ向かい、そこで販売されている「ハバネロ戦隊カラインジャー生地獄カレー」を購入し、文字通り生地獄を味わうこととした。

この生地獄カレーは、通常のカレーの約三〇倍のハバネロが使用されている。辛い物好きの人達のために開発されたものであり、パッケージには「自己責任でお召し上がりください」と記載されていた。

いざ生地獄カレーを食してみた。食事開始が十八時六分だった。見た目、匂いは普通のカレーで少し拍子抜けしながらもカレーを口へ運ぶ。なんだ普通に美味しいじゃないか…と、思った矢先、口に火を突っ込まれたと思うほどの熱さと痛みが走った。

五口目からは自分の吐く息でのどが焼ける感覚に陥り、また体は寒く感じ始め体温を測ると三五・六℃となった。七口目になると本当に辛く本当に痛く、食が止まってしまった。人は、辛い事に対し一度休憩を挟んでしまうと復帰することが困難となることがあるが、まさにそんな状態だった。それでも諦めず半ば自暴自棄になりながら十九時三五分に最後の九口目を食べ終え、人間的成長ができたと訳の分からない達成感に浸った。

読者の中に辛い物得意な方や何かしらの人間的成長を遂げたい方がいらっしゃれば、この生地獄カレーはお勧めかもしれないので、試してみてはいかがでしょうか（自己責任でお召し上がりください）。

ハバネロ戦隊カラインジャー生地獄カレー

はなしのひろば

未来へ

手元に二〇一一年三月十二日付けの少し色褪せた新聞がある。「震度６強　大津波」「初の巨大複合型災害」「自然の猛威」等々の見出し。テレビ欄は、緊急災害番組一色。少しずつ災害の全貌が明らかになるにつれ、巨大災害を実感することになる。報道では、「未曽有」「想定外」という言葉が氾濫している。

そして、三・一一を境に、非日常が日常になってしまったことに大きな戸惑いを感じながらも、それぞれが手探りで、少しでも「前へ　前へ」との思いだけだったような気がする。

また、震災から一ケ月後の新聞には、岩手県山田町で、粉雪が舞う被災地を、素足に草鞋を履いて、祈りを捧げながら歩くひとりの僧侶の写真が掲載された。亡くなった人たちに対する弔いの思いが痛いほど伝わってくる何とも切ない一枚。心に刻む風景である。

今、あの東日本大震災から八年が経過し、昨年、飯舘村は、三月十一日を「あたりまえをありがたいと思う日」に制定した。「あたりまえの日々への感謝を忘れないために／あたりまえの本当の意味を　未来に伝えたいから」と記している。また、県は、二〇二〇年七月双葉町中野地内に震災の記憶を後世に残すため「東日本大震災・原子力災害アーカイブ（記録庫）拠点施設」を開所する。未来に伝えたい思い、後世に残したいという思いは、今だからこそ到達した祈りにも似た思いに違いない。

ここに改めて、三月十一日の同じ命日をもつ一五、八九七名（二〇一八年十二月十日現在　警察庁発表）の御霊に、心から安らかなることを祈るばかりだ。

気がつけば三月。旅たちと別れのそんな季節がまた巡ってきた。

そして、新しい出会いの時も。

（都）

表紙の写真

「人機一体」

第15回ふくしま森林・林業写真コンクール入選

受賞者　金子紀美子さん（本宮市）

撮影場所：喜多方市熊倉

編集　福島県内四森林管理署
発行　福島県森林・林業・緑化協会
発行人　福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
水戸典明
陽光社印刷株式会社
（福島市中町五番一八号県林業会館内）
（定価　一〇八円）

お知らせコーナー

○野生山菜等の採取及び出荷・販売について

これから山菜の季節となります。国から出荷が制限されている市町村から採取された野生山菜等は、出荷・販売、飲食店や宿泊施設などでの提供、無償譲渡を行うことができませんのでご注意ください。なお、野生山菜等の出荷制限については福島県林業振興課のホームページで最新の情報をご確認ください。検索ワードは「福島県　山菜　出荷制限」です。

（https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyo-monitoring.html）

また、出荷が制限されていない市町村で出荷を希望する場合は、出荷前にモニタリング検査を行う必要がありますので、県農林事務所までご相談ください。

安全な野生山菜等の流通を図るため、皆様のご協力をお願いします。

○連絡先一覧

市町村名	事務所名	住所・連絡先
福島市、二本松市、伊達市、本宮市、伊達郡・安達郡の町村	県北農林事務所（森林林業部）	福島市杉妻町２－16（福島県庁北庁舎５階）
		024－521－2632
郡山市、須賀川市、田村市、岩瀬郡・石川郡・田村郡の町村	県中農林事務所（森林林業部）	郡山市麓山一丁目１－１
		024－935－1367
白河市、西白河郡・東白川郡の町村	県南農林事務所（森林林業部）	棚倉町大字関口字上志宝50－１
		0247－33－2123
会津若松市、喜多方市、耶麻郡・大沼郡・河沼郡の町村	会津農林事務所（森林林業部）	喜多方市松山町鳥見山字天神６－３
		0241－24－5734
南会津郡の町村	南会津農林事務所（森林林業部）	南会津町田島字根小屋甲4277－１
		0241－62－5375
相馬市、南相馬市、相馬郡の町村	相双農林事務所（森林林業部）	南相馬市原町区錦町一丁目30
		0244－26－4305
双葉郡の町村	富岡林業指導所	富岡町小浜553－２
		0240－23－6084
いわき市	いわき農林事務所（森林林業部）	いわき市平字梅本15
		0246－24－6193

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。

1 火災

山火事で受けた損害

2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害

3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害

4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害

5 干害

乾燥による枯死などの損害

6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害

7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害

8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》
竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255㈹

または最寄りの森林組合

イワフジのGPシリーズ **GP-35Bグラップルプロセッサ**

IWAFUJI INDUSTRIAL CO., LTD.

傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ
- 最大38度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- 全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- サイドカッター解除機能により曲がり材に対応
- 大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材

最新のGP-8コントローラを搭載
- 5.7インチカラー液晶ディスプレイによる多彩な情報表示
- 感圧式タッチパネル採用により操作性が向上
- A,B,C,Dの4コード毎に4種類、合計16種類の測長設定値
- 樹種を4種類登録でき、個別に材長調整値の設定が可能

新開発のスタッドローラ(オプション)
- 鉄輪の全周に装着された無数のスタッド(鋲)が材を強力に捉え、送りモータのトルクを伝えます。
- 特殊形状のスタッドを一体化したシンプルな構造で、メンテナンス

For the future with forest

イワフジ工業株式会社
www.iwafuji.co.jp

（北関東支店） 福島県郡山市八山田5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168
（本社・工場） 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1
（支　　店） 札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州

林業福島 三月号 通巻第六五五号
昭和四十二年二月二十四日第三種郵便物認可
平成三十一年三月一日発行（毎月一回一日発行）
監修 福島県農林水産部
編集発行人 水戸 典明
発行所 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
福島市中町五番十八号 県林業会館内
定価一〇八円
年間購読料一、九〇〇円（税・送料込）

レインボー薬品の薬剤と資材

緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

松くい虫予防薬剤
ヤシマスミパイン乳剤
スミパインMC
マツグリーン液剤2
グリンガード・NEO

くん蒸剤
ヤシマNCS

くん蒸用生分解性シート
くん蒸与作シート

ハチ退治
ハチノックL（巣処理用スプレー）
ハチノックS（携帯用スプレー）

レインボー薬品株式会社
東京都台東区上野1-19-10
お問い合わせ　TEL. 03(6740)7777
平日 9:00~17:00（土・日・祝日は休み）

ZENOAH®
人と共に　緑と共に

For Professional
BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

For Professional
GZ3950EZ
排気量 39.1cc
GZ4350EZ
排気量 43.1cc

ZHM1550RR
刈幅：1500mm　出力：27.5kW

SR3100
破砕径：200mm 出力：18.4kW

ハスクバーナ・ゼノア㈱ 福島県代理店
(有) うねめ林業機械
TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1